



講義する岡専務

「自然や漁師に感謝を」

「故郷に誇りを」

# 食育テーマに特別授業 町立女川小で4年生受講

【女川】宮城県女川町の町立女川小学校(阿部清司校長)で21日、食育をテーマにした特別授業が4年生を対象に行われた。講師役として地元の水産加工業・㈱岡清の岡芳彦専務が登壇。直売所「おさかな市場おかせい」の店長も兼務する立場から、豊かな海の幸に恵まれた郷土の素晴らしさ、人とのふれあいの大切さなどを熱弁。「魚を食べる時はそれを育む自然や漁師への感謝を忘れないでほしい」「新鮮な魚がいつでも食べられる故郷を誇りに思っしてほしい」などと伝えた。

## 郷土の素晴らしさ ふれあいの大切さ

岡・岡清専務が講師  
気仙沼の魚を普及させる会

ことを説明したうえで、知ってる味とまるで違っているのが楽しい」などと答えて驚いたなどと話し、「当然のように新鮮な魚が食べられるのは幸せなこと。豊かな水産業がある故郷を誇りに思っほしい」などと呼び掛けた。

このほかにも、タフレット端末を利用した特別授業も行われ、生徒たちは専用のホームページを見ながら、三陸の魚の旬の時期や、主要港の水揚げ金額・数量などについて勉強した。

この特別授業は「気仙沼の魚を学校給食に普及させる会」の主催。同会は気仙沼の水産関係企業・団体、市をはじめ、大日本水産会や全国の民間企業などで構成する組織で、平成24年から地産地消や国産の水産物の消費を促す活動として全国の小学校などで食育授業などを実施している。